



朧

成人向



んっ♡

んっ♡

またうまく
なつたなあ……
斑鳩ちゃん……!

ぐっ……
おおお……!

びん



いやあ……

びん♡

いい娘
連れてきたねえ

びん♡

詠ちゃん

ふふっ

4

そうですわねえ
予想外でしたわ

「お嬢様」とは
思えない程の
乱れっぷりで

まったく
素晴らしい
働きですわね

さて私は
お先に失礼しますわ

今日の分
頂きます?

あぁ
あぁ

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ





お嬢様には
必要ない
ものですわ

それは
斑鳩ちゃんの
分の……!

あっ

何不自由なく
育った
お金持ち
ですもの



彼女には
快樂だけで
充分ですわ

ビニ

あっ

じゃあ
私はこれで

ご機嫌よう

くっくっ
出るっ……!

ふうーっ
今日も
ご馳走様♥

……ところで
最近の詠ちゃん
生意気じゃね?

……だな
やることは
やってるが

斑鳩ちゃんと
比べると淡泊に
感じてしまうな

正直こっちに
全部金流したいわ



そう
だな…

…ふむ



…



誰よ？

あんたら



でよおー

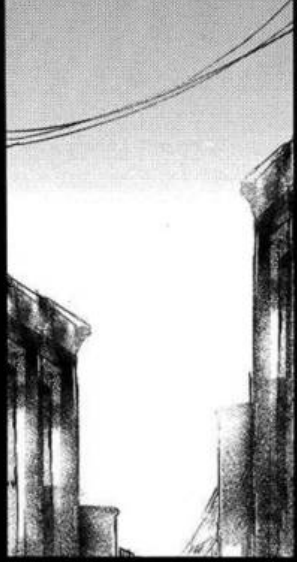
ぎやはは



君達
貧民街の
子かな？

あん？

貧民街





私達は君達に
学資援助して
る者だよ

ま学校
行かないから
知らねーよ

ふーん

んで
何の用?



そう 学資だけが
君達の為になる
訳ではないよな
特に君らのような
やんちゃ者にはさ

ああ?

だから
君達には

!



この娘で
奉仕しようと
思ってたね

ヤリたい
年頃だろ?

えっ!?
ちよっ…

存分に
愉しみなよ

なっ…!?





10



もう
はちきれそ
う
ですわ♥

まあ……!





うおっ...
おおっ...

んっ
んんっ

何この姉ちゃん
テクすげえ...!

頭イカれ
てっけど...!

か...身体も
エロいし
面も悪くないな



ななな
本当にか...?

ああ
君らの為に
用意したんだ

ほらほらと
遠慮せんと



んふ♡

んふ...



あああ...

お...お



くうんっ♡



ここいらの
ウリやつの
女なんか目じゃ
ねーよ!

すっげー!
こんなの巨乳
揉んだこと
ねーよ!

俺のも
舐めてよ!

ん♡

たっ たっ

ふふん…
お気に召したかな？

いやあ
最初引いた
けどさあ！

この
姉ちゃん
パネエっす！

んんん

んんん

それは
何よりだ
気の済むまで
出しなよ

へへっ…
んじゃ早速

おらあ！
喰らえやあ！

んんん

んんん

んんん

んんん



美味しい
です♡

とても
芳醇で
濃厚で...

はあ...♡
いっばい
出しましたね



ちょっと
焦り過ぎ
ですよっ...♡

あんっ♡

うおお!
もう我慢
できねえ!



いっ...
入れっぞ!

ん...



おいっ
いいっ
ぜっあ!
!

ピストン
する度に汁
垂れてんぜ!
!

あっ♥
いいですよっ…
もつと動かして…♥



あら

すいません
こっちませんか
空いてませんが





こっちは
初めて
だけど...

んじや...!



よろしければ
如何です?

えっ

ケ...ケツも
いけんのかよ!



おしり
大好きい...♥

あっ♥あっ♥
やっぱり...



嫌はい♥
なければ♥



がははっ
斑鳩ちゃんも
愉しんだるのお!

嫌がるかもと
少し思ってたが



な...何を
してるんですか!?



そうですね...
まあたまには♡

若いち○ぽも
いいがあつて
ですね♡



ーおや

はっ

はっ...!!

詠ちゃんか
じゃないか

こっこの街の人に
手を出さない約束
じゃないんですの!?

だから
私は
ちゃんと……!

うるさいなあ



ちょっとした
余興だよ

彼らも
悦んでる
わけだし

俺らも
面白いもの
見れて満足だわ

なっ……!



……てかさ

「最近の」
詠ちゃんより
よっぽど

斑鳩ちゃん
の方がいいわ
あの



え……

いや
わかるだろ?

あんなケツ
ぱっくり
ぶち込まれて

それを悦んで
腰振りまくって





うおおっ……!
イイキそっ……!

俺も……!



どんだけ
ハメても
疲れを顔に
出さないし

何でも
要求に
応えるし



詠ちゃん
そこまで
してくれたっけ?

ねえ?



……

あらっ……
まっ……♡♡

いいですよ……♡

いっば...
私...に...
♡

出してえ...
♡





まじっく一晩
考えなよ

今日は
この辺で
帰るわ

んじゃ



今後
どうすべき
なのかをさ



貴女…!!
わかってて
やっつたんですね!!

ねえ!?

…なるほど!
そういう
報復ですか!

バキッ



あの人達に取り
入って!

私の街の
子供達に
手を出して!

私が憤慨する
ことをわかって!



そもそも貴女が
首を突っ込ま……!

……違います

……私は
詠さんへの……

あの方達
からの援助が……
増えればと
思ってます……

……!?



な……
そんな……ワケ

私とて
忍の端くれ

……
快楽に抗う
ことなど……

でも……
私が抵抗
しないことで
貧民街が

詠さんが
楽になれば
良かった

だから私は
受け入れました
……快楽を



……
なのに
それが貴女を
怒らせている

苦しめている
ことになるなんて

……
どうすれば
いいのでしょうか……?





「斑鳩さん」

貴女って
人は……

サークル おーるどうえぼん
代表 古代兵器
連絡先 rena.usoda@gmail.com
印刷所 株式会社 栄光様
発行日 2014/11/30

あま、ばい

